

## 地域振興戦略部補助金 申請書チェック表

三 島 地 域      団体名：      三島地域を考える会

一 月 一 日      支所担当者名：      地域振興課      廣 川 明 則

様式	チェック項目	し点
第1号様式	右上の日付は事業開始以前の日付になっているか	/
	代表者の印鑑は押してあるか	/
	補助申請額は1,000円未満を切り捨てて記入されているか	/
	額の算出に間違いはないか	/
	事業期間は、年度内になっているか	/
第2号様式	団体パンフ、添付資料の有・無に○がついているか (ある場合は、申請書とともに提出)	/
	担当者連絡先は正確に記入されているか (事務所の所在がある場合はその項目も記入)	/
	団体情報の公開・非公開は選択されているか	/
第3号様式	事業計画に計画内容の記入モシはないか	✓
第4号様式	収入の部、支出の部の合計金額に誤りはないか	✓
	収入と支出の合計がイコールになっているか	✓
	支出に慰労会費、アルコール類の購入費は含まれていないか	✓
共通	事業に関して県や市の他の補助金を受けていないか	✓
	事務局の精査時に必要に応じてヒアリングを、三島地域委員会での審査時に、プレゼンテーションがあることを伝えたか	✓

◎申請団体のこれまでの主な取り組み、過去の目立った活動がありましたら記入してください。

・三島地域を考える会は、みしまコミセンまちづくり部会が主体の組織で、まちづくり部会はセイタカアワダチソウ駆除や三島中央公園のクリーン作戦等の環境整備活動や、イベントを通じた各種地域活性化活動に取り組んでいる。

◎その他 申請書受け取り時の団体の要望、担当者の方が気付いた点などがありましたら記入してください。

・平成20年度に行政が実施したアンケートから10年以上経過してのアンケートで、行政や地域委員会でもその分析結果の持つ意味は大きいのではないかと。  
 ・ソフト事業であることを踏まえ、アンケートの設問内容や手法・分析結果の報告の仕方など、業者任せではなく事業主体が積極的に関わってもらいたい。

## 第3号様式

## 事業計画書

事業名	みしまの未来を考えるプロジェクト
事業実施の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三島地域では平成20年度に実施された行政アンケートから10年が経過し、その後の住民の生活は少子高齢化の中で大きく変化をしている。しかし、その実情はなかなか見えてこないのが現状である。</li> <li>・三島地域の中学生以上を対象にアンケートを実施し、現在の地域の人々の生活状況や求めている事、困り事等の現状を把握することで、未来に向け三島地域の中で取り組むべきことを考察するため、調査と分析を行うもの。</li> <li>・アンケートの分析結果は、行政や地域委員会等と共有を図り、これからの三島地域の活性化に向けた取り組みに活かしていく。</li> </ul>
事業内容	<p>【令和2年3月までの事業準備として】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三島地域に住んでいる中学生以上の住民を対象としたアンケートを実施する。中学生に対しては、学校にて全員にアンケート用紙を配布し、記載してもらう。</li> <li>・高校生以上の住民に対しては、各世帯にアンケート用紙を2枚配布して回答をしてもらう。（世帯からの申出により用紙を追加）</li> </ul> <hr/> <p>【令和2年度地域の宝磨き上げ事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの分析結果から、地域の住民がどのように暮らしていて、どんなことを感じながら生活しているのかを調査・分析し、三島地域の未来のために、やるべき優先順位について考えていく。</li> <li>・アンケート結果については、分析結果報告会を開催し「誰かがやってくれる（何とかしてくれる）」ではなく、住民自らが問題解決に取り組む住民自治ができる三島地域に向けた取り組みを広げていく。</li> <li>・平成30年度に講演していただいた川北秀人氏を招へいし、三島地域は講演会を聴いてから、こんなに変わったんだということを発表し、さらなる住民自治の発展に向けた講演会を開催する。</li> </ul>
事業実施までのスケジュール	<p>令和元年12月 三島地域区長会にアンケート配布等協力依頼  令和2年2月 アンケート配布  令和2年3月 アンケート回収  令和2年3月～5月 集計、入力  【ここまでは当団体にて作業を実施】</p> <p>【ここからは令和2年度地域の宝磨き上げ事業】  令和2年6月 分析、報告書の作成  令和2年7月～ 分析結果の報告会  令和2年11月頃 まちづくり講演会（講師：川北秀人氏）</p>
子どもたちへの継承及びプロモーション効果	<p>今回のアンケートでは、調査対象を中学生以上とする事で、三島地域のことを子ども達と一緒に考える機会を作るとともに、アンケートを通じて、これからの三島地域を担う子ども達と、未来について話しをするチャンスとしたい。</p>

第4号様式

## 事業の収支予算書

## 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
地域の宝磨き上げ事業補助金(E)	609,000	
自己資金		
特定財源		
小計(D)	0	
その他	0	
合計	609,000	

## 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	内 訳	
補助対象経費	アンケート調査集計準備経費		
	アンケート集計研修会	60,000	アンケートの目的や意義、その後の主体的な地域づくり活動の実践を説明。(講師派遣人件費含む※事前資料・解説レポート含む) ※国土交通省技術者単価による
	事務用消耗品	15,000	分析結果集計フォーム用紙ほか
	小計	75,000	
	アンケート分析委託・報告会経費		
	アンケート分析委託	250,000	データ化したアンケートの分析経費
	分析レポート委託	70,000	三島地区の人口データを利用した将来予測、データ処理や解説資料づくりなど
	分析結果報告会経費	76,000	分析レポートの解説のための打合せ、資料作成経費(講師派遣人件費含む) ※国土交通省技術者単価による
	事務用消耗品	10,000	分析結果報告会消耗品
	小計	406,000	
	まちづくり講演会経費		
	講演会謝礼	123,000	講師:川北秀人氏(交通費等含む)
	事務用消耗品	5,000	資料配布用紙代、付箋、その他
	小計	128,000	
	小計(C)	609,000	
補助対象外経費			
小計(B)	0		
合計(A)	609,000		

※国土交通省技術者単価

調査項目、調査方法等が未定で、コンサルタントとしての経験から最適な業務計画、設計手法等を確立して対応することが求められる業務者に該当させた単価設定。先例が少ない実験解析、特殊観測、診断等を要する業務者単価による。